

上田式12段階とBRS 記録・対応整理シート

結果・評価条件・前回差を整理し、BRSとの関係を混同せず共有するための臨床記録用

対象者ID		評価日		評価者	
評価目的		前回評価日		麻痺側	

1. 評価結果

部位	BRS Stage	上田式 Grade	前回 BRS	前回 上田式	変化	判定根拠	補足
上肢							
手指							
下肢							

上田式12段階はBrunnstrom法を基盤に標準化・細分化された評価です。対応関係はありますが、異なる尺度の結果を機械的に置き換えるための換算表ではありません。各尺度は正式な手順で判定してください。

2. BRSとの参考対応（上肢）

BRS	I	II	III	IV	V	VI	参考対応
上田式 Grade	0	1-2	3-6	7-8	9-11	12	

※ 上表は上肢の参考対応です。各尺度を正式に評価せず、数値だけを置き換える目的では使用しません。

3. 評価条件

体位	例：背臥位／端座位／立位	開始肢位	肩・肘・前腕／股・膝など	指示方法	口頭指示・デモ・反復の有無
促進・介助	触覚刺激・誘導・代償抑制の有無	疼痛	部位・程度・動作への影響	疲労	有無・程度
注意・覚醒	評価への影響	時間帯	午前／午後など	その他	服薬・装具など必要事項

4. 前回との差と次回確認

前回との差	
次回確認点	
追加評価・共有事項	

5. 記録時の確認

☐ 尺度名と評価部位を明記した	☐ 段階だけでなく判定根拠を残した
☐ 上肢・手指・下肢を一つの数字にまとめていない	☐ 前回と同じ尺度・条件で比較した
☐ 疼痛・疲労・注意／覚醒など変動要因を確認した	☐ BRSとの対応を機械的な換算として扱っていない

本シートは評価結果と条件を整理するための自作記録シートです。上田式12段階・BRSの正式な検査用紙、原著、判定基準の代替ではありません。

参考文献・根拠

- 上田敏ほか. 片麻痺機能テストの標準化：12段階「片麻痺回復グレード」法. 総合リハビリテーション. 1977;5(10):749-766. DOI: 10.11477/mf.1552103862
- 参考対応（上肢）：福井工業大学リポジトリ 博士論文. fut.repo.nii.ac.jp/record/20/files/ishida300116.pdf